

2005年1月28日

## オリセツト®ネットによる社会貢献プロジェクト

住友化学は、国連基金（United Nations Foundation）が企画し、3月12日・13日にセネガルのダカールで開催される「アフリカライブ2005 ロールバックマラリアコンサート」に、主要スポンサーとして協力していくことをスイスのダボスで開かれている世界経済フォーラムにおいて発表しました。このコンサートはマラリアの防圧のために世界保健機関（WHO）などが進めるロール・バック・マラリア・キャンペーンの一環として行われるものです。

8時間にわたるこのコンサートには、アフリカの著名な音楽家であるユッサー・ンドゥールを始めとするミュージシャンが出演し、歌を通じてマラリア防圧の重要性を訴え、その具体的な方法として蚊帳の使用などを呼びかけます。その模様はアフリカ各国や欧州で放映され、合わせて4億5千万の人々が視聴すると期待されています。

現在、世界では年間3億人がマラリアを発症し、100万人以上が亡くなっていますが、その大部分がアフリカで発生し、特に5歳以下の多くの子供の命を奪っています。こうした深刻な状況を一刻も早く改善するため、ロール・バック・マラリア・キャンペーンは2010年までにマラリアによる犠牲者を現在の水準から50%減らすことを目標にして、さまざまな活動に取り組んでいます。

当社は、マラリアを媒介する蚊を防除し感染を予防するために、独自技術により防虫剤を含浸させた蚊帳「オリセツト®ネット」を開発、アフリカを中心に供給し、優れた防除効果と環境への安全性を高く評価されてきました。2003年9月にはWHOの要請により、この製造技術をタンザニアの蚊帳メーカー（A to Z Textile Mills社）に無償供与し、製品の量産体制を整えました。今後は、さらなる需要の増加に対応すべく供給能力の拡大を図ってまいります。

今回のコンサートへの参加は、蚊帳の普及を通じてロール・バック・マラリア・キャンペーンの推進に協力しようとするものです。当社は、これからも、マラリア防圧のためのさまざまな活動に幅広く参画し、世界の人々のより豊かな暮らしの実現のために貢献したいと考えています。

WHOより認定を受けた長期残効型の防虫剤処理蚊帳（LLIN）を織る糸の原料の樹脂に防虫剤（ペルメトリン）を練り込んであるため、洗濯しても有効成分がにじみ出てきて効果が長時間持続します。米誌「タイム」が「2004年の最も素晴らしい発明」（Coolest inventions of 2004）の一つに選ばれました。

以上